

柏市教育大綱(案)

令和8年3月

柏市

はじめに

本大綱は、本市の教育が目指す基本的な方向性を示す計画であり、子どもたちが将来に夢や希望を持ち、知・徳・体のバランスの取れた成長を支えることを目的としています。あわせて、「一人ひとりが想いを実現できるまち」を目指し、本市の教育振興に関する総合的な施策として策定するものです。



現代社会は変化が極めて速く、将来の予測が困難な状況にあり、今後も一層複雑化・多様化していくことが予想されます。そのような時代にあっても、不変の価値は「人」にあるものと考えます。柏市の未来を担う子どもたちが、自らの人生を豊かにし、幸せを実感しながら歩いていくために、教育は何よりも「個人の幸福」を追求する役割を担う必要があります。

そのため、教育は、単なる知識の詰め込みだけではなく、「知識」や「技能」、「思考力」といった認知能力の習得に加え、数値では測ることができない「主体性」や「自己効力感」、「協働性」などの内面的な力、いわゆる非認知能力を一体的に育むことが重要であると考えます。

また、デジタル化やグローバル化が進展する新たな社会環境の下においては、AI等の技術に代替されない人間らしい力、すなわち判断力・創造力・共感力などを育むことが一層求められます。加えて、知識が急速に更新される現代において、自分らしく主体的に「生きる力」を身につけることは、人生を通じての大切な財産となるはずです。

子どもたちが幸せに生きるために、学校を卒業したその先の人生においてこそ、真に役立つ力を教育を通じて培ってほしいと願っています。

令和8年3月

柏市長

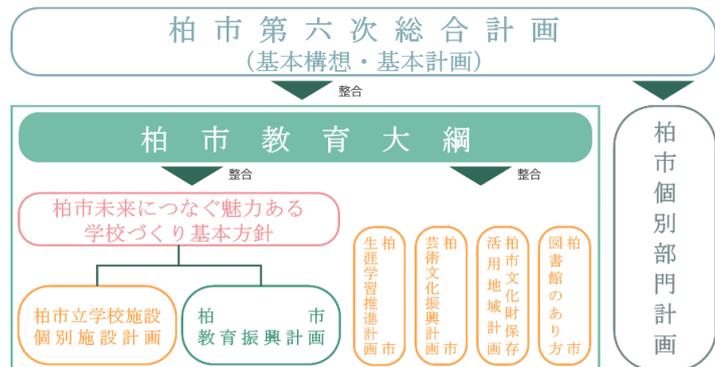
太田和美

1 大綱の位置づけ

柏市教育大綱は、本市におけるまちづくりの最上位計画である「柏市第六次総合計画」との整合を図るとともに、教育分野における個別計画を効果的かつ計画的に推進するため、

教育の目標及び施策の根本的な方針として策定するものです。

また、これからの学校教育の方向性を示す「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」との整合を図りながら、誰一人取り残さない学校教育の推進と、子どもたち一人ひとりの学びを支える、よりよい教育環境づくりを進めるための上位理念として位置づけるものです。



2 大綱の基本理念

誰もが学び続けられることで、
人が育つまちを目指します。

本市では「柏市第六次総合計画」において、目指す将来の姿を「柏に関わる一人ひとりが想いを実現できるまち～多様な価値や人々がつながり、新たな価値の創造に挑戦～」と掲げ、その実現に向けた重点テーマの一つとして、「誰もが学び続けられることで、人が育つまちを目指します。」という方向性を示しています。

この重点テーマは、あらゆる世代が生涯にわたり学び、成長し続けることができる環境づくりを進めるものであり、特に、子どもたちの学びが将来の力を形づくる基盤となるという考え方に基づくものです。こうした考え方を踏まえ、教育行政と総合計画の方向性を一致させるため、「柏市第六次総合計画」の重点テーマである「誰もが学び続けられることで、人が育つまちを目指します。」を本市の教育における基本理念として位置づけます。

3 基本理念を支える4つの柱

I 自律的に学び、未来を拓く力

子どもたちにとって、将来を主体的に生き抜くためには、与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見つけ、考え、行動に移す力を身につけることが大切です。

そのためには、基礎的な知識及び技能を確実に習得するとともに、自身の興味や関心に基づいて学びのテーマを見いだし、主体的に取り組む意欲を伸ばすことで、子どもたちが「自分にもできる」という自己効力感を高めることが重要です。

さらに、情報や考えを整理し、論理的にまとめて自分の言葉でわかりやすく伝える思考力・表現力を養うことで、考えを実際の行動につなげる力を育みます。

このように、自ら学び、判断し、行動する主体性と実行力を体系的に培うことで、自分の未来に責任を持ち、よりよい生き方を選択する力を育成します。

II 多様な他者を尊重し、協働する力

多様な価値観や背景を持つ人々と共に生きる社会においては、他者の立場や気持ちを理解し、尊重することが欠かせません。特に、未来を担う子どもたちには、共感力や思いやりの心を育むとともに、円滑に関わり合うためのコミュニケーション力を高め、互いに認め合う姿勢が求められます。

また、他者の意見や感情に目を向け、違いを尊重するなど、多様性を受け入れる感性を養うことが大切です。さらに、歴史や文化、国際社会について学ぶことで、広い視野と国際的な感覚を身につけることができます。

加えて、協力して課題に取り組む経験を通して、協働性や向社会性を高め、互いに支え合う力が育まれます。こうした力を身につけることで、学校生活のみならず、地域社会や将来の社会参加においても、豊かな人間関係を築くことができると考えています。

Ⅲ しなやかに立ち上がり，生き抜く力

社会や生活の中で生じるさまざまな変化や困難に直面したとき、自らの力で乗り越えようとする挑戦する力や柔軟性が重要です。一方で、命や心を守るために、時には立ち止まり、周囲に助けを求めるなど、別の道を選ぶことも必要です。

そのため、本市では、誰もが困難に向き合う中で、自分自身を大切にしながら生き抜く力であるレジリエンス（回復力）を育むことを目指します。

失敗や思い通りにいかない経験から学び、気持ちを整えて再び歩み出す自己回復力を高めるとともに、状況に応じて考え方や行動をしなやかに切り替える適応力を養います。

さらに、誰もが自分と他者の命を尊重し、一人で抱え込まず、周囲と支え合いながら困難を共有し、共に乗り越えていく力を育てていきます。

Ⅳ 生涯を通じて学び続ける力

学び続けることは、自分の人生を豊かにし、幸せに生きる力となります。人は、新しいことを知り、できることが増えることで、喜びや自信を得ることができます。

このため、本市では、あらゆる世代が自らの関心や目的に応じて学びに取り組むことができるよう、興味を深め、能力を磨くことの楽しさや学習意欲を大切にします。

さらに、学びは日常生活における気づきや人との関わり、地域活動への参加をはじめ、地域の文化・自然・芸術など、さまざまな場面やつながりの中で生まれます。こうした多様な学習の機会を通して、多角的な視点で物事を捉え、情報を分析し、判断・選択する客観的思考力や、課題に向き合い試行錯誤を重ねることで、問題解決力を高めることができます。

また、子どもから高齢者まで、一人ひとりが学びの主体者として自らの成長に向き合い、生涯にわたり学び続ける力を育むことで、最終的には自分らしい人生を築くことができるよう、互いに学び合い、支え合う社会の形成を目指します。

4 大綱の期間

柏市教育大綱の期間は、令和8年度（2026年度）から令和11年度（2029年度）までの4か年とします。



柏市教育大綱

令和 8 年 3 月

柏市 企画部経営戦略課

〒277-8505 柏市柏五丁目10番1号

TEL:04-7167-1117 / FAX:04-7167-1210

MAIL:keiei@city.kashiwa.chiba.jp